

## 春山

春山のわれらを越ゆる鷗かな

佐野良太

3

『樞』（昭和一七）所収。昭和十一年作。春の山に友と遊ぶ。頭上を越える鷗に驚きの声をあげると、皆見上げて驚く。「われら」ということは、同行の全員の一体感を読むことができる。そして一句にちりばめられているア音が、作者の気分の高揚を伝える。同句集の「花薊われら稜線にうきあがる」（昭和一四）にも、同様の「われら」が見られる。作者は白田亜浪門。【春山・春】

澤 3 月号 目次

澤通信句会のお知らせ…………… 4

小澤 實 鼻梁 十五句…………… 8

高橋睦郎 季語練習帖 第一四七回…………… 10

潺潺集 小澤 實選…………… 12

毛布 梶等太郎

横に置く 大竹安子

枯草 生井敏夫

神 鳳 佳子

仮眠 嶋田恵一

大正 小西保男

血も加へ 蔵田かをり

元日九時 長谷川照子

踏ん張るだけ 妹尾題弘

海藻つくし 新井 寛

父の爪 川上弘美

集中 結城あき

笑顔 周藤迪之相

ほお 弓緒

二階 椎野順子

初湯殿 渡邊のぶお

三粒 栗生

小澤主宰読売文学賞受賞によせて 生井敏夫…………… 18

速報 令和三年度澤三賞（潺潺賞・新人賞・叢林賞）・潺  
潺集特別賞受賞者…………… 20

澤句会賞発表 通信句会賞…………… 21

澤俳句鑑賞 262

福田若之…………… 22 森下秋露…………… 24

窓

俳書を読む

森川光郎『町空』／曇日良雨『九曲』／本井 英『二十三

世』／井上弘美『夜須来』／木暮陶句郎『薰陶』  
加納 燕…………… 26

詩文学芸書を読む

安田浩一(文)／金井真紀(文と絵)『戦争とバスタオル』  
根岸哲也……………28

総合誌俳句鑑賞

「俳壇」「俳句界」「俳句四季」「俳句」今朝……………30

俳句結社誌を読む

「花鳥来」大木由美子……………32

通信句会の秀句 村越 敦……………34

潺湲集巻頭作家インタビュー 小日向美春……………36

澤集巻頭作家インタビュー 山中広海……………37

同人代表句 池田慶子／高橋球子……………38

同人一句鑑賞 結城あき／持田育司……………39

澤衍……………40

澤四十句 小澤 實選……………42

選後独言

その地に住まなければできない句 小澤 實……………44

澤集 小澤 實選……………46

山口刃心／清水ましろ／佐藤涼子／鈴木桃子／及川 澄／  
三好忠土／伊藤泰子／森下秋露／冬魚／大室ゆらぎ／高橋  
美穂子／平嶋さやか／戸田いぬぶぐり

消息／新入会員……………79

令和四年度同人会費について／2月号発送報告／

「俳句を豊かにするもの」原稿募集のお知らせ……………80

澤俳句叢書一覧……………81

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／  
澤基金募集のお願い……………82

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………83

澤句会・カルチャー一覧……………84

広告……………85 後記……………90

デザインⅡ玉井一平

澤  
令和4年3月1日発行  
澤 俳句会  
頒価 1,200円

表紙／小澤  
實著『秀句三五〇選友』より